

2011. 6. 11

NPOフォーラム・だより No.41



NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> Blog 安房国再発見 <http://ameblo.jp/awabunka1>

■ 郷土の音楽物語『花とふるさと』 …秋の「日本のうたごえ祭典 in ちば 2011」でコンサート

今秋、「つながる・ひろがる・共感、明日への希望」をテーマに開催される日本のうたごえ祭典 in ちば。11月18日(金)18:45～市川市文化会館大ホールにて郷土の音楽物語『花とふるさと』の混声合唱コンサートが行われます。花作りが禁止された戦争中の安房地域において、焼却命令にあった花の種苗を命がけで守り抜いた農婦の実話から誕生した平和祈念の音楽です。安房に暮らす私たちも、ぜひ一緒に歌いましょう。

◆楽譜代 500 円 ◆団費(月額)2,000 円 ◆指導:遠藤久江 ◆練習日:第一・第三木曜日 19:00～20:30

◆会場:館山市コミュニティセンター3F 音楽室 ※見学・体験練習は参加費無料、自由にご参加ください。

♪6月16日 ♪7月7日 ♪7月21日 ♪8月4日 ♪8月18日 ♪9月1日 ♪9月15日 ♪10月6日

■ 知恵袋講座

…13:30～小高記念館 参加費 200 円、楽しい茶話会です！

◎ 6月28日(火) テーマ: 白浜灯台と金子光春～現代詩の誕生～ 語り手: 本間義人さん

戦時下に反戦詩をうたい、現代詩のさきがけとなった詩人・金子光晴。アジア放浪の原点は、14歳のとき徒歩で房総半島をめぐるといひます。本間さん自らも詩人であり、教育者です。

◎ 7月26日(火) テーマ: あわを紡ぐ 語り手: 笠井美智子さん

20代からアジア、沖縄、アメリカ…とめぐり、「紡ぐ・織る・染める」の糸文化の技術を習得し、生まれ故郷の千倉に戻り、あわコットンクラブを主宰。漁師の網やセーターなどの伝統的な漁村文化を調査研究中です。

■ 第15回戦争遺跡保存全国シンポジウム神奈川県横浜大会

テーマ「戦争遺跡を平和のための文化財に！」 …主催:戦争遺跡保存全国ネットワーク

◎ 8月6日(土)～8日(月) 会場:慶応義塾大学日吉キャンパス 申込・詳細問合せはNPOフォーラムへ

8/6	9:00~10:30 11:00~12:00 13:00~16:30 17:30~19:30	見学会 A-1 日吉台地下壕(連合艦隊司令部) 全国ネットワーク総会 歓迎アトラクション ひとみ座乙女音楽 記念講演 澤地久枝「戦時下の若者たち」 基調報告 十菱駿武・白井厚・山田朗・村上有慶 全国交流集会	見学会 A-1 800 円 参加費 一般 2 日間 2,000 円 1 日間 1,000 円 学生 2 日間 1,000 円 1 日間 500 円
8/7	9:00~15:30 16:00~17:00	分科会 第一「保存運動の現状と課題」 第二「調査の方法と整備技術」 第三「平和博物館と次世代への継承」 閉会集会・各分科会の報告・大会アピール	交流会 3,500 円
8/8	AM/PM AM/PM 9:45~15:00 10:30~15:55	見学会 A-2・3 日吉台地下壕(連合艦隊司令部) B-1・2 明治大学平和教育登戸研究所資料館 C 貝山地下壕・海軍航空技術廠・野島掩体壕 D 横須賀軍港・猿島要塞	見学会 A-2・3 800 円 B-1・2 800 円 C 1,350 円 D 2,500 円

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

* スタッフ募集中! ガイド見習いも大歓迎。

6月12日(日) 10:45~16:00 平尾ふれあいの会 23名 座学・戦跡基本・かいた村

6月17日(金) 10:20~14:40 木更津市金田公民館 25名 座学・戦跡基本

6月22日(水) 下見:大楠台歴史と文化のクラブ

7月3日(日) 10:00~12:00 赤山地下壕無料ガイド

7月29日(金) 10:00~16:00 神奈川県私鉄労組青年婦人部 20名 座学・赤山・かいた村

* おねがい *

会費未納の方には、伝票を同封しておりますので、ご入金をお願いいたします。カンパも大歓迎です。

A 会員:年会費 2,000 円 …総会に参加し議決権を有する個人

B 会員:年会費 個人 1,000 円 法人 10,000 円

※ 東日本大震災の二次的影響により、スタディツアーのキャンセルが続いています。皆様のネットワークで、平和学習・まちづくり研修などのスタディツアー誘致にお力添えください。

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

※ NPO安房文化遺産フォーラムは、当会の事務局を付託されています。

明治の画家・青木繁が房州布良(館山市)の小谷邸に滞在し、描いた《海の幸》が国の重要文化財に指定されていることは、私たちの誇りです。近代の日本画壇に鮮烈な影響を与え、28歳という若さで亡くなった天才画家の没後50年には、田村利男館山市長の呼びかけで日本美術界からの募金により、布良海岸に《海の幸》記念碑が建てられました。2008年に館山市富崎地区コミュニティ委員会を中心として、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会が発足し、館山市指定文化財となった「小谷家住宅」の修理・保存基金を募り、地域活性化を旨としています。

今春、「小谷家住宅」天井部の雨漏りと、東日本大震災による屋根瓦のズレの緊急修理を行ないました。また、庭木の伐採をしたところ、住宅の向こうに海と洲崎岬が見えるようになりました。天気の良い日には富士山も見え、青木繁が感激した風景のひとつが蘇りました。記念碑の草刈りもされ、正面に伊豆大島を望むことができます。

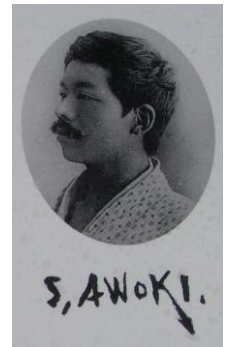
館山市商工観光課および花海街道「e-旅」研究会により、サイクリング&ウォーキングマップと案内看板(サインボード)が制作されました。作図は当NPOの中屋勝義さん、解説文は愛沢伸雄代表が制作協力しています。



没後100年 青木繁展 よみがえる神話と芸術

石橋美術館(久留米)	2011.3.25(金)～5.15(日)
京都国立近代美術館(京都)	2011.5.27(金)～7.10(日)
ブリヂストン美術館(東京)	2011.7.17(日)～9.4(日)

没後100年にあたる今年、大回顧展が久留米・京都・東京で秋まで開催されています。《海の幸》や《海景(布良の海)》のほかにも、これまで未発表であった素描画や手書きの房州地図なども公開され、とても興味深い作品の数々に目を奪われます。布良滞在の翌年、お腹の大きくなった恋人・福田たねを伴い、再度訪れた房州伊戸の円光寺で、焼き釘を用いて太平洋を描いた板戸4枚も展示されています。岩に砕ける荒波を中央に、右端に富士山、左方面に伊豆大島・利島・式根島…などを配置してダイナミックに描かれ、明らかに伊戸(平砂浦)から見た海景であることがわかります。



*館山でも、青木繁・没後100年イベントを企画中です！

- 7月21日(木)・8月24日
ブリヂストン美術館ツアー (富崎地区コミュニティ・保存する会の共催)
- 7月23日(土) 14:00～
青木繁が愛した漁村を歩いてみよう (ガイド付)
- 7月30日(土)・31日(日)
青木繁の《海の幸》を描いてんべえ絵画教室
- 8月27日(土) 14:00～
没後100年・青木繁《海の幸》フォーラム
美術講座 「布良という聖地 ～《海の幸》が生まれた場所」
講師：貝塚 健氏 (ブリヂストン美術館学芸員)＝南総文化ホール小ホール
- 8月28日(日) 10:00～
青木繁が愛した漁村を歩いてみよう (ガイド付)
- 9月11日(日)・12月11日(日)
漁村の料理教室「おらがごっつお(我が家のご馳走)」
…などなど、盛りだくさん。諸事情により日程・内容に変更がおきる場合もあります。お問合せください。

会員募集中！ 青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

年会費 2,000円 本会の趣旨に賛同し、年1回の定期総会に参加する資格を有し、希望に応じて、活動に参加できます。入会希望者は、同封の募金チラシの伝票にて「入会希望」と記し、会費をお振込ください。あるいは、入会申込書に住所・氏名・電話番号を記入し、会費を添えてNPO事務局にお預けくださっても結構です。

* 郵便振込口座00150-6-616201 名義：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

*** 青木繁命日祭「けしけし祭り」に、館山から参列。**

明治44(1911)年3月25日、青木繁は28歳の短い生涯を閉じました。
放浪の末、病に倒れ、運命を覚悟したとき、姉妹に遺した手紙にはこう書かれていました。 …原文は候文…
「骨灰は、ついでのときに、高良山の奥のケシケシ山の松樹の根に埋めてください。
小生は、あのさみしい山頂より思い出多い筑紫平野を眺めて、
この世の怨恨と憤懣と呪詛とを捨てて、静かに永遠の平安なる眠りにつきたいと思います」

昭和23(1948)年3月25日、生まれ故郷・福岡県久留米市のケシケシ山(兜山)には、坂本繁二郎ら友人によって碑が建てられました。遺言どおり、繁の指の骨が、天をさした状態で埋められたとのこと。毎年命日に近い3月下旬に、繁の画業を偲んで「けしけし祭」が行われています。



平成23(2011)年3月27日、晴天のもと、第58回けしけし祭りが開催されました。
繁が滞した布良の小谷家の後裔、小谷福哲さん(左から2人目)がカッポ酒の献酒儀式に参加しました。

順光寺にある青木繁の墓石



後列左より、久留米連合文化会・森史陽会長、檜原利則・久留米市長、館山布良の小谷福哲・由喜枝夫妻
石橋鉄也氏(繁のひ孫)、高山喜一郎氏(繁の弟の孫)、久留米連合文化会役員
前列左より、館山の保存会事務局から鈴木瑞江さん、愛沢香苗・伸雄夫妻、池田恵美子さん

*** 青木繁旧居をたずねて… 旧居保存会の皆様と。温かいほとめき(おもてなし)、ありがとうございました。**



おしらせ

本年度、愛沢伸雄代表が館山市観光協会の理事に、池田恵美子事務局長がNPO法人生涯学習まちづくり協会の理事にそれぞれ就任しました。これまで以上に、両組織との連携を強化し、観光まちづくりをすすめていきます。

日本一の自治会で開催！！

創年コミュニティ研究大会

—3.11 後の克災都市づくり—

2011年7月17日(日) 会場:立川市上砂会館 参加費 1,000円

創年とは…

自己を生き、よりよく創り変え、積極的に生きようとする生き方のこと

いまこそ、創年の出番です！ 人と人とのつながりの大切さを一緒に見直しましょう。

近年、「無縁社会」という言葉が話題になりました。私たちの生活の中で、孤立や孤独化が進んでいる現実が浮かび上がり、大きな衝撃を与えました。その対極にあるのが「立川市・大山自治会」です。個人が徹底的に自立を求められる社会で、住民同士のネットワークを活かし、強力なコミュニティを作り上げることで注目されています。

未曾有の大震災を経て、人と人とのつながり「絆」が見直されている今だからこそ、大山自治会を会場に、まちづくり・コミュニティづくりの分野で活躍する個人・団体の方々にご参加いただき、コミュニティとネットワークを考える研究大会を開催します。

9:30	受付開始
10:00	開会式 あいさつ:東京都立川市長 清水庄平氏 報告「大山団地自治会にみるコミュニティのあり方」 佐藤良子(大山団地自治会長)
10:45	分科会 1. コミュニティ形成のための自治会の工夫 ・中沢卓実(常盤平団地自治会長)・市川恵子(なかの生涯学習大学)・工藤日出夫(北本市議会議員) 2. 大不況時代の創年市大学と学習内容 ・増淵直嗣(矢板市ふるさと創年大学)・須藤勇(東松山市きらめき大学)・渡邊信(下田市「馬車道」) 3. 地域における創年活動 ・池田恵美子(NPO安房文化遺産フォーラム)・市川なお美(坂戸市職員)・田村満(ケセンきらめき市民大学長) 4. 災害復旧の力を生みだす市民活動 ・仮屋茂(コネカクラブ)・浅野恵美子(酒々井町職員)・鈴木迪雄(水産衛生管理システム協会) ・齊藤ゆか(聖徳大学准教授)
12:45	休憩
13:30	基調提言「安心・安全のコミュニティづくりと創年活動の進め方」 福留強(聖徳大学生涯学習研究所長・NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事長) シンポジウム「創年コミュニティに求められる役割」 佐藤良子(大山団地自治会長)・田村満(岩手県大船渡市・ケセンきらめき市民大学長) ・清水英男(聖徳大学人文学部教授)
16:00	閉会 交流懇親会 (参加費 4,000円)

申込:NPO法人安房文化遺産フォーラム(HP新着情報より、申込書をダウンロード可) 定員:150名

主催:創年コミュニティづくり研究大会実行委員会

共催:NPO法人全国生涯学習まちづくり協会・立川市大山自治会・全国生涯学習市町村協議会

後援:立川市・立川市教育委員会・立川市社会福祉協議会・立川市自治会協議会

明日の日本を創る協会・日本余暇文化振興会・全日本社会教育連合会

AWA311 安房医療介護福祉連携・東日本大震災支援の会

当NPOも連携を図り、継続的に支援を行なっています。現在、布団乾燥機・夏用衣料のほか、野菜等の食糧、ガソリン代のカンパを募っています。ご提供くださる方は、事務局(花の谷クリニック 0470-44-5303)にお問合わせください。